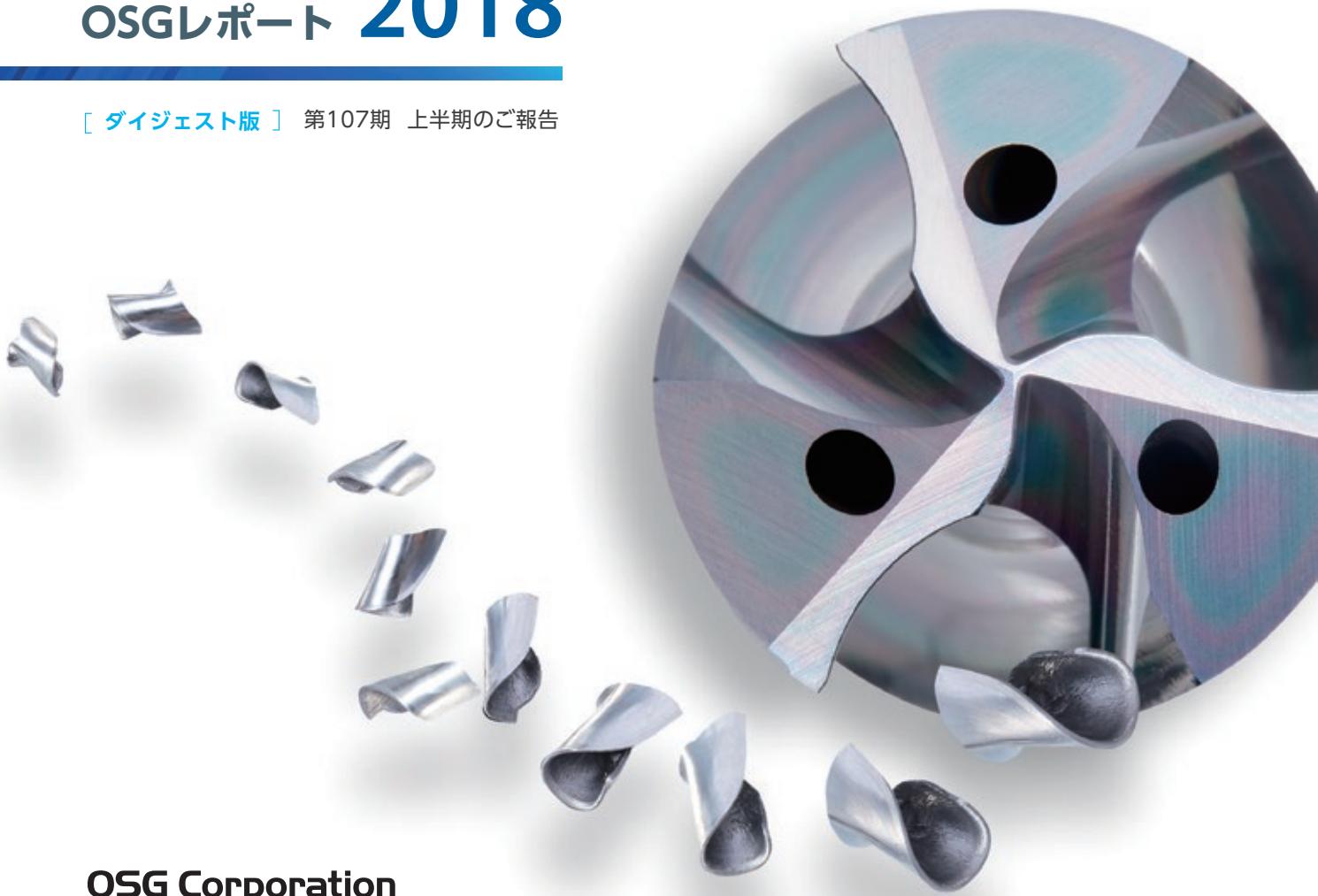




shaping your dreams

OSGレポート 2018

[ダイジェスト版] 第107期 上半期のご報告



OSG Corporation

一步一步、 目標に向けて、 粘り強く。

CONTENTS

- 02 Our History
- 03 社長メッセージ
- 05 役員紹介
- 06 コーポレート・ガバナンス
- 07 環境への取り組み
- 08 社会への取り組み
- 09 財務・非財務ハイライト
- 10 会社情報／株式情報

本冊子について

本冊子は、オーエスジーの統合報告書「OSGレポート2018」のダイジェスト版として制作されています。

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すオーエスジーの姿を分かりやすくまとめました。尚、P09「財務・非財務ハイライト」 P10「会社情報／株式情報」については2019年5月31日時点での最新の情報を記載しております。

株主の皆様へは、これまでの「OSG通信」の代わりとして、上半期は「OSGレポート(ダイジェスト版)」をお送りさせていただきます。通期のご報告は、これまで通り「OSG通信」をお送りさせていただきます。ぜひご一読下さい。

「OSG レポート 2018」オリジナル版

オーエスジーのWebサイトでは、オリジナル版(原本)の冊子PDF(全ページ)をご覧いただけます。

冊子をご希望の方は、当社Webサイトの投資家情報に関するお問い合わせフォームよりご請求下さい。

冊子PDF: https://www.osg.co.jp/about_us/ir/financial/file/OSG_integrated_reporting_2018.pdf



Our History

1938年に東京の地に創立以来、オーエスジーは、砥石でタップを研削する技術をはじめとするさまざまな独自技術の開発と海外での独自販売ルートの開拓を通じて、世界の切削工具市場を切り開いてきました。数々の困難を乗り越え、現在の最先端技術の開発や世界33カ国のグローバルネットワークの構築を実現できたのは、オーエスジー独自の“挑戦し続けるDNA”を持った社員が躍動してきたからにほかなりません。この“挑戦し続けるDNA”は、今も脈々と受け継がれ、将来の成長の核となることは我々の成長の歴史が証明しています。

1938年 
大沢秀雄が東京に(株)大沢螺子研削所を創立し、タップ・ダイスの製造を開始



1963年 
転造平ダイスの製造を開始

1968年 
OSG Tap and Die (アメリカ)
(現OSG USA)

1970年 
ハイスエンドミルの製造を開始

1974年 
OSG Ferramentas de Precisão (ブラジル)
(現OSG Sulamericana de Ferramentas)

1981年 
東京・名古屋証券取引所の市場第一部に上場

1984年 
ドリルの製造を開始



1997年 
欧州統括会社OSG Europe S.A.
(ベルギー)

2001年 
欧士机(上海)精密工具

2003年 
OSG GmbH(ドイツ)

2004年 
デザインセンターを設立

2006年 
グローバルテクノロジーセンターを設立



2010年 
刃先交換式工具 OSG PHOENIX
の販売を開始

2012年 
OSG Turkey(トルコ)

2016年 
AMAMCO(アメリカ)

2017年 
D-Labを設立





OSG Corporation



石川 則男

代表取締役社長 兼 CEO

「地球会社」はOSGの原点。

“ 企業が継続的に成長を遂げる上で、
最も大切なものは「社風」です。 ”

100年企業に向けて 「グローバル志向」と「差別化」

2018年3月26日、オーエスジーは創立80周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

節目の年を迎えた2018年11月期は、創立以来の「チャレンジ

精神”をもって、100周年に向けて新たな一歩を踏み出す1年となりました。

企業理念に「地球会社」を掲げ、世界のモノづくり産業への貢献を目指すオーエスジーが大切にしているのは、「グローバル志向」と「差別化」です。いかなるプロセスにおいても“他社と違うこと”に価値を求め、柔軟な思考とともに常に世界を見据えた動きをしています。経営環境が刻一刻と変化する中、変えてはいけないものと、変えていくものを見極めながらスピード感をもって前進していきます。

オーエスジーの中長期的なビジョンのもとに総力を結集し、2038年の100周年に向け挑戦を続けてまいります。

“ 国内生産体制刷新プロジェクト
「OSG4.0」を推し進め、
新たな価値を創造していきます。 ”

将来の事業成長に向けて ステークホルダーに対して 価値を生み出し続けていく

当社の主要顧客である自動車産業については、EV化に伴う切削工具への長期的影響に常に気を配りながら、残っていく部品とこれから増えていく部品に関連するマーケットシェアを伸ばしていきます。また、海外市場でのさらなるシェア拡大に向け、新たな顧客産業の開拓・拡充に力を入れています。今後は航空機、医療、金型産業、エネルギー産業など、幅広い分野に対するアプローチ強化を続けていきます。

また、ステークホルダーの皆様にもさらなる価値を生み出していくため、「OPDM(OSG Product Data Management System)」、「アフターサービス事業」、「OMIC」といった取り組みを行っています。「OPDM」においては、オーエスジーのデータベースに存在する製品固有の属性データ、設計データ、顧客別の売上データを一元化することで、さまざまなデジタル情報をつなげるインフラが構築されつつあります。このデータベースの整備を基軸として、国内生産体制刷新プロジェクトである「OSG4.0」を強力に推進する体制ができました。「アフターサービス事業」は、環境に配慮した工具の再利用を行う再研磨事業に加え、工具寿命を飛躍的に延ばすコーティングサービス事業を柱として、国内外に再研磨やコーティングの拠点を拡充しております。さらにアメリカ・オレゴン州の産官学連携研究機関の「OMIC」へは設立当初から参画し、最新の加工提案を行うことで航空宇宙産業におけるオーエスジーのプレゼンスを高めています。

“ 中長期的な企業価値の拡大に向け、
生産能力増強に対し3～4年で
500億円の投資を計画しています。 ”

財務資本戦略について 健全な財務体質を維持しながら、 積極的な成長投資と株主還元を両立

当社は、中期的なスパンで、2桁(10%超)のROE水準は必要だと考えています。また、戦略的な成長投資と財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮した適正な利益配分に努めています。利益配分で優先するのは、既存コアビジネスの拡大、グローバルな事業展開など、中長期的な企業価値を高めるための成長投資です。2018年11月期は、成長投資を中心に114億円の投資を行い、スマートライン化などの設備増強、研究開発の拡充、M&Aなどの施策を実行しました。今後については、供給力増強に向け生産体制の刷新に注力する方針で、国内外の生産能力増強に対し3～4年で500億円の投資を行う計画です。当社はリーマンショック以降順調に利益を積み上げ、自己資本比率は70.4%と強い財務体質を築いています。

株主還元につきましては、株主の皆様への利益配分を重要な経営課題の一つとして認識し、「連結ベース配当性向30%以上」の維持を前提に、キャッシュフロー、財務状況などを勘案し配当を行うことを基本方針としております。2018年11月期の1株当たりの配当金は47円(中間配当金22円・期末配当金25円)とさせていただきます。

オーエスジーは、創業以来受け継がれてきた「チャレンジ精神」を発揮し、高品質、高付加価値の切削工具の提供を通じて永続的な企業価値向上に取り組むとともに、社会の持続的な発展に貢献していきます。ステークホルダーの皆様には、今後とも変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

役員紹介



～前会長 故 大沢輝秀の銅像とともに～

代表取締役社長 兼 CEO

石川 則男

取締役 専務執行役員

大沢 伸朗

取締役(監査等委員)

大沢 吾平

取締役(監査等委員)

中川 威雄*

取締役(監査等委員)

大森 宏幸*

取締役(監査等委員)

小野 喬四朗*

取締役(監査等委員)

榊 佳之*

取締役(監査等委員)

高橋 明人*

補欠の取締役(監査等委員)

原 邦彦**

* 社外取締役

** 補欠の社外取締役

常務執行役員

大沢 二郎

常務執行役員

大沢 秀朗

常務執行役員

竹生 光志

上席執行役員

Michael Grantham

上席執行役員

彦坂 光義

上席執行役員

米田 能崇

執行役員

大野 博巳

執行役員

Jeffrey Tennant

執行役員

澤田 和久

執行役員

富吉 剛弘

執行役員

久留 俊弘

執行役員

鈴木 康司

執行役員

大橋 英之

執行役員

杉原 健也

執行役員

鄭 承鎮

執行役員

近田 幸典



コーポレート・ガバナンス

実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制の整備と充実に継続的に取り組んでいきます。

コーポレート・ガバナンスへの取り組み

企業統治体制の概要

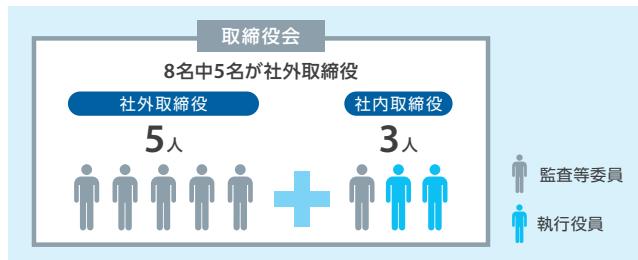
当社は、2016年2月20日開催の第103回定時株主総会決議により、当該定時株主総会終結の時をもって監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行しました。さらに、2018年2月17日開催の第105回定時株主総会以降は、業務執行は執行役員が行い、取締役会はその監督を行うという体制とし、取締役会の役割を明確にしました。

現在の取締役会は8名の取締役で構成されていますが、そのうち過半数である5名が独立性のある社外取締役であり、外部からの視点を生かし、取締役会の透明性、独立性及び経営監督機能を高めることで、コーポレート・ガバナンスの強化を図っています。取締役会は、原則として毎月1回の定期取締役会と必要に応じて臨時に取締役会を開催し、重要事項の審議及び経営の意思決定を行うほか、業務の執行状況の監督を行っています。

また、当社は、経営環境の変化への的確な対応と業務執行の機能・責任の明確化のため、執行役員制度を導入しております。執行役員は、取締役会で決められた方針のもと、業務の執行に専念し、機動的かつ迅速化と効率化を図っています。

企業統治体制の採用理由

当社では、現在のコーポレート・ガバナンス体制とすることで取締役会における経営の意思決定機能及び業務執行を管理監督する機能を充実させ、経営効率の向上と的確かつ戦略的な経営判断が可能となっています。また、当社は6名の取締役（うち5名は社外取締役）で構成する監査等委員会が、代表取締役及び執行役員の職務執行及び業務や財政状況の監査等を行っています。当該社外取締役5名全員が上場規則に基づく独立役員であり、これら独立性の高い社外取締役を含む6名の監査等委員である取締役が取締役会の構成員として、経営監督機能を十分に発揮できる環境にあるため、経営の透明性、適正性を確認・確保するコーポレート・ガバナンス体制であると考えています。



環境への取り組み

さまざまな産業を切削工具で支える企業として、環境負荷の少ない製品開発・製造に取り組んでいます。

環境に配慮した製品づくり

ワンレボリューションスレッドミル「AT-1」を開発

オーエスジーでは、環境配慮型製品の開発に意欲的に取り組んでいます。2018年は、従来荒加工と仕上げ加工の2パス加工が必要とされていたものを1パスでの加工で実現したワンレボリューションスレッドミル「AT-1」を開発しました。この「AT-1」は、工具寿命の延長やお客様の加工電力消費量の削減など、より環境に配慮した製品として、お客様から高い評価を受けています。

●右刃左ねじれ溝

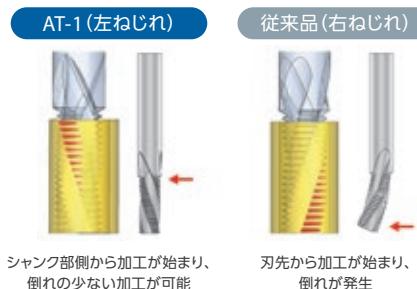
ホルダー端面に近いシャンク部側の刃先から接触するため、工具の倒れが大幅に軽減され、めねじ口元と奥側の有効径の差異が大幅に減少しました。この効果により、径差を削減させるためのゼロカットも不要となり、工具寿命も向上します。

●不等分割・不等リード

びびり振動を抑制する不等分割・不等リードの採用により、従来「荒・仕上げ」と2パス加工が必要だった加工においても、1パスでの加工が可能となりました。

1パス加工

右刃左ねじれ溝と不等分割・不等リードの2つの効果で、汎用被削材では1パス加工が可能となりました。2回の動きが1回に抑えられることで、電力消費量の削減にも貢献します。





社会への取り組み

ステークホルダーであるお客様、取引先、従業員、コミュニティへの社会的責任を果たします。

講演活動の取り組み

▶ 夢を持つ子供たちへ、講演会を行っています

小中学校の子供、職員、保護者を対象に、講演活動を行っています。2018年11月30日に行われた講演会で、「これから大人になるキミたちへ」と題し、「あいさつの大切さ」「自分を変えられるのは自分だけ」「夢を持つことの大切さ」という3つのメッセージを伝えたのは常務の大沢。子供たちがさまざまなことに興味を持ち、そして夢を持つきっかけになるよう、今後も講演活動を積極的に行っていきます。



▲講演会の様子

◀常務執行役員 大沢二朗

働きやすい職場環境に向けて

▶ 「治療と仕事の両立支援カンパニー ゴールド認証」を取得

「治療と仕事の両立支援」とは、病気の治療を行いながら仕事を続けることを支援するための取り組みです。人口減少や高齢化に伴い、今後は職場において、病気を抱えた労働者の「治療と仕事の両立」への対応が必要とされています。両立支援の取り組みが優良である企業を、愛知労働局長が「治療と仕事の両立支援カンパニー」として認証する制度が創設されました。

オーエスジーは2018年10月「あいち治療と仕事の両立支援シンポジウム」にて、「治療と仕事の両立支援カンパニー ゴールド認証」を取得しました。



認証を受けてから3年間、「あいち治療と仕事の両立支援カンパニー」の呼称と認証マークを使用することができます。



愛知労働局が行っている「AICHI WISH事業」において、働き方推進企業として、ゴールド認証は★3つを取得することができます。

財務・非財務ハイライト

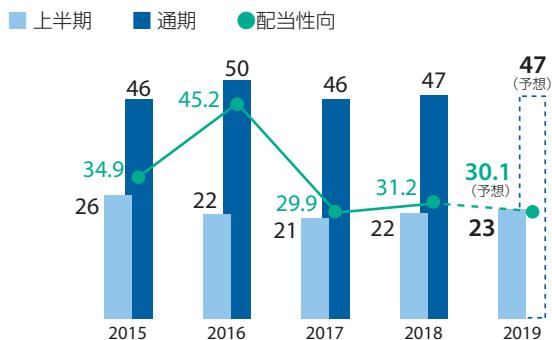
売上高(億円)



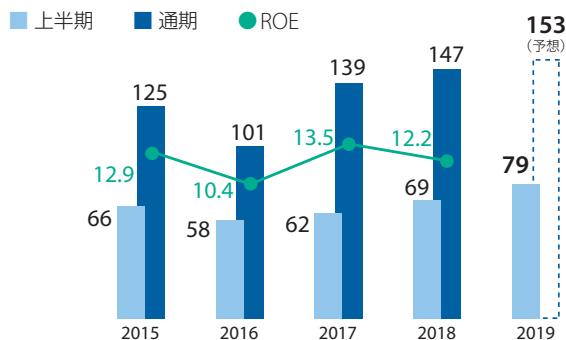
営業利益(億円) / 営業利益率(%)



配当金(円) / 配当性向(%)

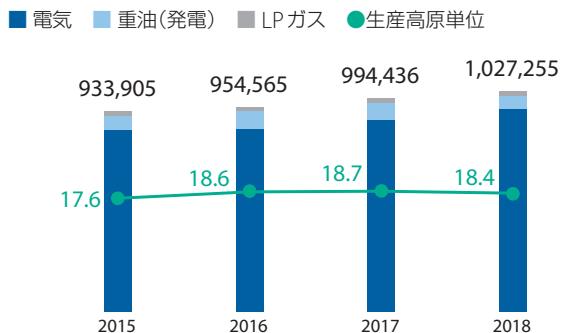


当期純利益(億円) / ROE(%)



エネルギー使用量(GJ)

エネルギー使用量の生産高原単位(GJ/百万円)



CO₂排出量(t)

CO₂排出量の生産高原単位(t/百万円)



会社情報／株式情報

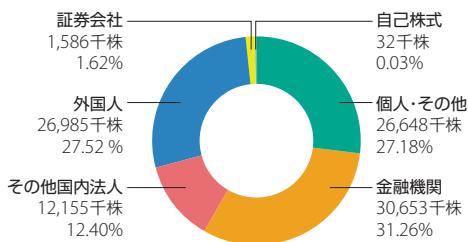
会社概要 (2019年5月31日現在)

商号 オーエスジー株式会社
OSG Corporation
本社 愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地
設立 1938年3月26日
資本金 121億24百万円
従業員 連結7,184名 単独1,846名
事業内容 切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・
機械部品の製造販売、工具の輸入販売

株式の状況 (2019年5月31日現在)

発行可能株式総数 200,000,000株
発行済株式総数 98,061,519株
株主総数 7,637名

所有者別株式分布状況



大株主の状況

株主名	所有株式数(千株)	所有株式数比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,441	6.57
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	5,361	5.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,684	4.78
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	3,403	3.47
オーエスジーエージェント会	3,016	3.08
オーエスジー持株会	2,516	2.57
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,464	2.51
公益財団法人大澤科学技術振興財団	2,340	2.39
株式会社三井住友銀行	2,100	2.14
トヨタ自動車株式会社	2,100	2.14

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 所有株式数比率は自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 毎年2月開催
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年11月30日
中間配当 毎年5月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および
全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告によります。ただし事故その他や
むを得ない事由により電子公告をすることが
できない場合は日本経済新聞に掲載いた
します。

[https://www.osg.co.jp/about_us/ir/
kessan/](https://www.osg.co.jp/about_us/ir/kessan/)

単元株式数 100株

上場金融商品取引所 東京・名古屋両取引所

証券コード 6136



OSG Today

キーマンに聞く ～100周年に向けて～



吉川 健一
OSG (INDIA) PVT, LTD.

グローバルネットワークは、プラットフォーム。世界各地で地域に密着した独自のサービスを、世界市場でさらに進化させていきます。

グローバル市場を一言でいうなら異種格闘技のようなものだと考えています。グローバルで成長を続けているオーエスジー社員は、常に走りながら考え「出杭力・道程力・造山力」を持った人材であり、それを動かす構想力が備わっていると自認しています。今後のビジネスの可能性と発展を考える上で、オーエスジーのグローバルネットワークは欠かすことのできないプラットフォームです。このプラットフォームをベースに技術革新が行われ、世界のルールを私たちが変えていくことを夢みながら、日々ワクワクしながら走り続けています。



岩城 篤史
アプリケーション
エンジニアリンググループ

顧客視点で考え、部署間をつなげることの重要性を考え、お客様の期待に応え続けることで、持続的な成長を達成していきます。

オーエスジーが大切にしている、「技術力」「対応力」「提案力」「創造力」どの項目が欠けてもお客様の期待に応えることはできません。オーエスジーでは、単にお客様のコスト削減のような数字目標に応えるためだけに行動するのではなく、お客様が目指している夢の実現に向けて、一緒に考えて行動するという「顧客視点」が根底にあります。オーエスジーは常に「お客様の夢をカタチに」することを目指しています。そして、すべての部署にそのメッセージが浸透し「夢の実現のために動く」。これが他社にはないオーエスジーの強みだと考えています。



中村 大樹
国内営業本部
マーケティングチーム

お客様の利益を最優先に考え、お客様に選んでいただけるサービスを提供することで、「OSGブランド」を磨き上げていきます。

「オーエスジーの価値」、それこそが我々のブランドであると考えています。ここで表す価値とは、お客様が製品を通じて企業から得る価値のことで、オーエスジーの価値は、お客様の目の前にある仕事スムーズに片付き、お客様の利益につながることです。今後ますますIoTで自動化が進んでいく中、AIではできない、オーエスジーのみが実現できる「OSGらしさ」をお客様へ提供することを強化していきたいですね。製品だけでなく社員のひとりひとりが「OSGブランド」であると胸を張って言えるよう、企業ブランドを今後も磨き上げていきます。



オーエスジー株式会社

〒442-8543 愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地
TEL:0533-82-1111 FAX:0533-82-1131
<https://www.osg.co.jp/>

